

1月の県内景況は、円安による原料価格の高騰の悪影響と燃料価格値下げの好影響の両面がみられた。

情報連絡員による平成27年1月の県内中小企業の景況は、業界全体として「好況」は15.0%（前月比+4.8）となっており、「横這い」は33.3%（同-9.1）、「低調」とするところが51.7%（同+4.3）、業界全体の「景況感DI」は-36.7（同+0.6）となっています。

1. 全産業の項目別前年同月比DI値の動き

◇「売上高」「販売価格」「取引条件」「収益状況」「設備操業度」の項目において前月と比較して改善しています。

2. 業種別の「業界の景況」

◇前年同月と比較して、建設業は「晴れ」、鉄工機械製造業、その他製造業、卸売業、サービス業は「曇り」または「薄曇」、その他の業種はすべて「大雨」または「雨」となっています。

◇来月の見通しは、やや悪化、悪化の見込みは、35.0%（前月比+1.1）と増加しております。好転、やや好転の見込みとの回答が11.7%（前月比+3.2）と増加しております（好転の回答0件、やや好転の回答5件）（製造業3、非製造業2）。また、変わらないが、53.3%（前月比-4.3）と減少しております。

平成27年1月の景況について、情報連絡員からの報告は以下のとおりです。（回収率100%）

項目別DI 業種区分	売上高		販売価格		収益状況		資金繰り		雇用人員		業界の景況	
	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比
食料品製造	-57.14	-28.57	0.00	28.57	-28.57	-28.57	-14.29	-14.29	-42.86	-14.29	-14.29	-42.86
繊維製品製造	-33.33	0.00	0.00	-33.33	0.00	0.00	0.00	33.33	-33.33	-33.33	-33.33	-33.33
木材木製品製造	-75.00	-100.00	-25.00	-50.00	-75.00	-100.00	-25.00	-75.00	0.00	25.00	-75.00	-100.00
鉄工機械製造	20.00	-20.00	0.00	20.00	0.00	-20.00	-20.00	-20.00	0.00	-40.00	0.00	-20.00
その他の製造	-42.86	-28.57	0.00	28.57	-14.29	-14.29	-14.29	0.00	0.00	-14.29	-14.29	0.00
卸売業	-50.00	0.00	25.00	25.00	-50.00	-25.00	-25.00	-25.00	0.00	0.00	-50.00	-25.00
小売業	0.00	-22.22	33.33	-11.11	-11.11	-33.33	-22.22	-33.33	-22.22	-33.33	-22.22	-33.33
商店街	-66.67	-83.33	-33.33	33.33	-50.00	-33.33	-16.67	-33.33	0.00	0.00	-16.67	-50.00
サービス業	-57.14	-42.86	14.29	28.57	-42.86	-28.57	-14.29	-14.29	0.00	0.00	-42.86	-28.57
建設業	-20.00	20.00	0.00	20.00	0.00	20.00	0.00	20.00	0.00	0.00	0.00	20.00
運輸業	-100.00	-100.00	0.00	33.33	0.00	33.33	0.00	0.00	-33.33	-66.67	-33.33	-33.33

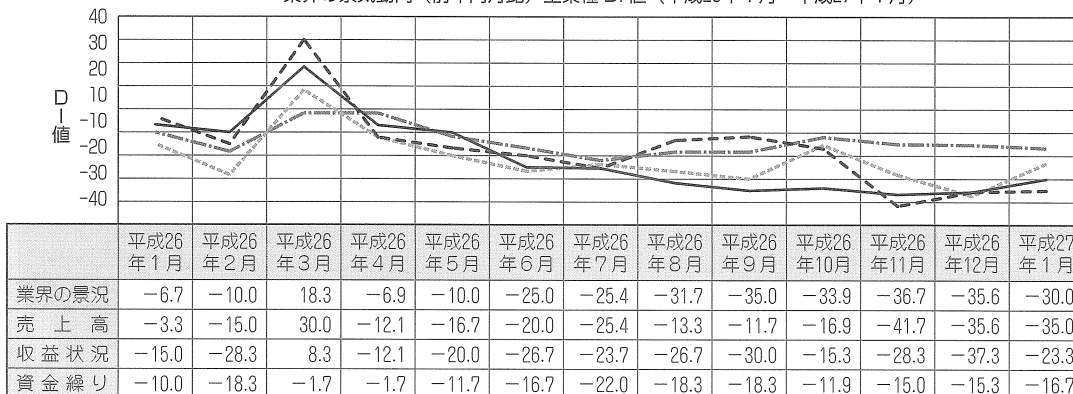
天気図の見方

各景況項目について「増加」（または「好転」）業種割合から「減少」（または「悪化」）業種割合を差し引いた値（D・I値）をもとに作成。その基準は下表のとおりである。

D・I値基準値

- 快晴 30以上
- はれ 10~30未満
- うすぐもり -10~10未満
- くもり -30~-10未満
- 雨 -50~-30未満
- 大雨 -50未満

業界の景気動向（前年同月比）全業種DI値（平成26年1月～平成27年1月）



食料品製造業

<漬物>

円安による原料高だが、業界に値上げの動きがないため収益が厳しくなっている。

<味噌醤油>

主原料の大豆は依然として高騰が続いており、また、調味料をはじめ副材料も海外からの輸入原料のため、値上げの傾向が進んでいる状況。味噌・醤油の出荷量は1～12月前年比味噌5%減、醤油は横ばいだが、平成25年度が前年比24%減であったことを考えると、出荷量は依然厳しい低迷が続いている。

<菓子>

全国的に業界は不景気。購買力が低迷しているように感じる。

<酒造>

年末年始は売上が好調で特に吟醸、純米の伸びが目立った。全体的にみて、まだまだ風評被害を感じる。特に輸出は厳しく、伸びが悪い。

<食品団地>

原油価格は前月対比20%下がったが、原料、副材料の高騰は続いており、収益は若干持ち直し程度である。県内の食品に対する消費動向は依然として低迷しており、厳しい状況は続いている。

縫製品・同製品製造業

<ニット>

秋冬物の生産が一段落し、春物の生産に入る時期だが、受注状況は厳しい状況である。

<縫製品>

春夏物の手配が遅れ、1月中旬までフル稼働ではなかった。1月下旬より、受注及び原材料もそろい、2月以降は夏物がフル稼働になると思うので、期待している。

木材・木製品製造業

<製材業>

製品価格は年明け後一段と軟化し、製材工場の採算性は著しく悪化している。製材業界は値下げをしても製品を現金化し、高値丸太を確保せざるを得ない悪循環に陥っている。しかしここに来て(1月下旬から)原木相場の高止まりから、柱用丸太を中心に価格が上がり始めてきた。

<外材輸入>

小名浜港の昨年の外材輸入量は前年比20%減と激減、消費税駆け込み住宅着工の反動と為替円安要因により厳しい状況が続いている。

紙・紙加工品製造業

<紙器・段ボール>

平成26年度を振り返ると、紙器関係業界は3月末まで消費税増税前の駆け込み需要があり、増加で推移したが、4月以降は予想以上に一般消費が伸び悩みをみせ、回復基調にやや水を差した感が否めない。

印刷業

<印刷>

年末はそこそこ堅調であったが、1月に入ってから例年通り芳しい状況ではない。

窯業・土石製品製造業

<陶磁器>

毎年この時期は売上減少となる。

<碎石>

(県北地区)

1. 当月売上高の前月比 約3%の減
2. 当月売上高の昨年同月比 約18%の増
3. 今年度累計の昨年対比 約18%の増
4. 原因・状況 先月に引き続き、除染工事関連と生コン工場への納入が多かった。

<生コン>

平成27年1月の組合員生コン出荷数量は、129,787m³と対前年同月比4.2%の減。増加地区は東日本大震災等で被害を受けた道路、建物、港湾等復旧・復興工事が主たる要因。出荷数量の内訳は、民需が対前年同月比7.7%の減、官公需が2.5%の増であった。

■民需の動向

対前年同月比 7.7%の減

① 対前年同月比増加地区

<県北地区> 4.8%の増

JA新ふくしま集荷施設建設工事、老人ホーム建設工事等

<白河地区> 9.7%の増

工場新築工事、東北道中央防護柵更新・橋梁補修工事等

<会津地区> 4.3%の増

会津中央病院増築工事、旅館施設改修工事等

② 対前年同月比減少地区

<県中地区> 28.3%の減

マンション新築工事、須賀川病院建設工事、工場増築工事等

<いわき地区> 10.0%の減

いわき物流センター建設、工場増設工事、マンション新築工事等

<相双地区> 3.6%の減

原発保安対策工事、常磐道舗装工事、広野火災消波ブロック工事等

■官公需の動向

対前年同月比 2.5%の増

① 対前年同月比増加地区

<県北地区> 14.5%の増

霊山トンネル、医療科学センターC棟工事、福大図書館新営増築工事等

<県中地区> 53.7%の増

郡山市中央公民館工事、環境創造センター、復興公営住宅建設工事等

<白河地区> 0.6%の増

白河市民文化会館建設、白河中央中学校、新石川小学校建設工事等

<いわき地区> 1.1%の増

港湾災害復旧工事、復興公営住宅建設工事等

② 対前年同月比減少地区

<相双地区> 5.0%の減

海岸保全施設整備工事、富岡町・浪江町減容化施設工事等

<会津地区> 20.6%の減

鶴城小学校新築工事、復興公営住宅建設工事等

白河市民文化会館建設、白河中央中学校、新石川小学校建設工事等

<会津地区> 44.8%の減

鶴城小学校新築工事、湯川村役場新築、復興公営住宅建設工事等

鉄鋼・金属・一般機械製造業

<各種プラント機器>

当組合のプラント設備関連業界は、先月に比べ売上は減少したものの、前年同月比では2倍近い売上となった。また、先月に続き見積引合関係も微増ながら増えている傾向にあり、今後に期待が持てそうである。

卸売業

<卸売業>

(県中地区)

季節商品の売上について例年と比べて目立った動きはない。一方、ガソリン等の思いもよらぬ急落は業界として歓迎。ドライバーの人手不足が現在深刻だが、中間貯蔵施設への搬入が始まればさらに加速し(人件費が上がる)、物流コストが上がってしまい、競争力を失う可能性が指摘されている。建築関連は依然として順調だが、こちらも人手不足は相変わらず、ただし業界自体が現在の好調さを「補助金等による一時的なもの」とみており、積極的な採用を手控えている。

<再生資源>

古紙市場の市中回収は依然低調であるが、冬場の季節要因もありさらに厳しい状況が続いている。輸出については円安基調から堅調に推移しているが、2月の旧正月を控え、中国向け輸出は鈍化傾向にある。鉄スクラップについても軟調推移で低調な状況が続いている。

小売業

<共同店舗>

(県中地区のOショッピングセンター)

1月は、前月比で来店客数・売上増となった。前年比は1割減だった。2月度は、新店もオープン予定で相乗効果を期待するところ。

(県中地区のNショッピングセンター)

昨年秋以降売上が上がりづらい状況が続いている。年末から年始にかけて肌で感じ取れるほど顧客の引き締めが強まっているように感じる。

<石油>

先月に続き、各元売の仕切が大幅に下落した。これにより、小売価格も毎週下落となった。下げ幅が大きいことから、売上金額が予想以上に減額し、経営上の資金繰り悪化が懸念される。

<青果>

12月の早期に降った雪の影響で品薄と単価の高騰で平成27年が始まった。しかしながら小売店においては寒さからか、客足が伸びず、取り扱いに影響がでた。毎年年始より営業する量販店におされ、小売店販売も厳しい状況が続いている。2月もこの状況が続くと予想している。

<電機>

今が一番販売に苦労しているところではないだろうか。3月になると合展、個展の開催により持ち直すと思う。エアコンの販売は暖房を主に考え購入されるので、金額的に夏場のエアコンの倍の金額になることが多い。

商店街

<福島市>

暦の影響で、年末年始の休みが長かったせいか、逆に正月商戦は低調きわまりない状況に。日祭日が多いほど、商売に悪影響を及ぼすということを再確認した

1月となった。ただただ堪え忍ぶのみ。

<郡山市>

1月は、それまでの伸び悩みがもろに出た。ひとつもプラスになる材料が見当たらない月だった。2月から3月にかけて、うすい百貨店の春の北海道物産展があるので期待はできるが、それ以外での落ち込みが大きいのでどうなるかが予測がつかない。今後は商店街活性化の補助金も少なくなりそうなので、何かとやりくりしに苦労しそうだ。

<南相馬市>

2月に入り、地域イベント等もなく、ひっそりとした流れ。当商店街名物の第3土曜日開催の「ナイトばざー」も23年目をむかえ、避難されているお客様もリピーターとして来ていただいている。

<会津若松市>

元日休業、2日より初売の店舗が多かった。恒例の“十日市”は土曜日で天候もますますだったので朝から人出が多くにぎやかだった。来店者も多く、売上も昨年並みだった。“子供フェスタ”は2回目となり、天気にも恵まれたたくさんの親子連れで明るく和やかなムードだった。直接販売にはつながらなくても、商店街の活性化になればいいと思う。

<いわき市>

初売だけはここ数年盛り上がりを見せるが、商店街はその後来街者が減り厳しくなる。寒い日、風が強い日、冷たい雨が降る日などは歩くお客様は本当に少ない。年齢層の高い顧客を持つ商店が多く、天候に左右される傾向がますます強くなった。毎年恒例のチャリティセールも客数は半減。しかしながら売上は微減で固定客に支えられていることを再認識したが、飲食店が増えた商店街に物販店の不安は増すばかりである。

サービス業

<旅館業>

(土湯温泉)

原発賠償の打ち切り素案が提示されるなど、業界内で動揺が起きている。風評被害の減少といわれる根拠が不明確であり、少なくとも震災前と比較して2割近くはお客様が戻っておらず、小売の面でもお土産品等の売上は3~4割が減少のままである。ここで、あと1年で打ち切りだとなったら、倒産する企業や大幅な人員削減を余儀なくされるだろう。放射能はいまだに間違いなく残っており、それがなくなって初めて賠償打ち切りではないか。

<理容業>

正月休み明け仕事はじめの2~3日は、年末に調髪できなかったお客様の来店で忙しかったが、その後は例年通りの状況だった。月1回の周期で調髪する人は今は少ないようで、年末に来店した人たちはまだ来店するところではないし、大半の店は12月の売上の約2割減くらいようだ。これは例年のことだが、従業員を雇用している経営者にとっては厳しい状況である。髪を切らなくとも来店するようなメニューがあればいいと思う。いろいろやってみているが、なかなかヒットしない。

<廃棄物収集運搬業>

災害関連事業は終わったが、新規事業の開始にあたり、人員の確保に苦労している。

建設業

<建設業>

(県一円)

総務省が1月30日に発表した2014年平均の労働力調

査をもとに、国土交通省が建設分野を推計したところ、技能労働者数は暦年平均で4年連続の増加となり、建設業就業者のうち29歳以下が占める割合は0.5ポイント上昇し、10.7%となり、全産業（16.4%）に比べて割合自体は依然低いものの、若者の比率が上昇に転じるなど、長年続いた建設市場の縮小に歯止めがかかり、若者を含む担い手もどりつつあるとのこと。

（県南地区）

降雪が少なく、作業しやすい天候が続いているが、除染においては一時保管場所の確保ができないため、作業ができない現場がいくつかあり、フレコンや砕石に余裕がある。建築工事では、技能工不足のため、工期に遅れがでる傾向がある。

<管工事>

給水・排水設備申請とも、前年比及び前月同月累計対比で減少している。

<専門工事>

新しい年になりました。天候的には、中通りより東が穏やかであった反面、会津地方では年末から雪が降り続き、対応に苦慮している。降雪があると除染作業

に影響が出ることもあり、そういった意味からは幸いなものかもしれない。人材不足については相変わらずどころか、新卒者を含めた若い人材の確保については目途が立たないのが実情である。併せて、業界に対する若者の就業意欲の低下という問題もあり、今年も人材確保と人材育成という点については最重要課題として対応する必要があるのではないかと感じている。

運輸業

<トラック運送>

（県北地区）

1月は稼働日数も少なく売上は減少しているが、燃料価格の値下げによる収益増加が続いているため、収益環境は好転している。

（県中地区）

軽油価格が下がってきたため、収益の改善が見られつつある。

<ハイヤータクシー>

天候が比較的穏やかなこともあり、動きが鈍かった。厳しい状況である。

県政トピックス

2015.3

中小企業等の経営相談窓口のご案内 ～二重債務問題、経営改善、事業再開・再生～

■このような方は、お気軽に御相談下さい。

- ・震災や風評被害で売上が伸びない
- ・経営を改善したい
- ・借入金の悩みがある

福島県産業復興相談センター

福島市置賜町1-29 佐平ビル9階

電話 024-573-2561

受付時間 8:30～17:15（土日、祝日を除く）

経営改善の方法でお悩みの方、震災後を含む全ての借入金に関する金融機関との交渉でお困りの方。

東日本大震災事業者再生支援機構（郡山出張所）

郡山市駅前1-14-3 MS駅前ビル2階

電話 024-935-7252

受付時間 9:00～18:00（土日、祝日を除く）

震災前借入金及びその借換の返済により経営が厳しく、抜本的な債務処理をお考えの方。

無料相談
秘密厳守
公的機関